

日本語論文講座を開催しました！

11月25日（木）大分大学教育学部の麻生雄治 教授をお招きし、高校1年生全員を対象に、論文の書き方について、御指導いただきました。「論文とは単に先行研究を調べてまとめるのではなく、すでにある文献よりも新しく、妥当性のある議論を論理的・実証的に展開するもの」とのお話がありました。

レポートや論文の作成過程として、①テーマを決める、②問いを立てる、③調べる、④考える、⑤まとめる、との紹介がありました。論文の構成は、「テーマ」から始まり、①はじめに、②目的・問題の設定、③先行研究、④方法、⑤結果、⑥考察、⑦まとめ、⑧今後の課題、⑨参考文献、⑩付録、の順序で、それぞれの章で記述すべき内容を御教示いただきました。

受講した生徒からは、「決まった形式に沿うことで論文の内容を伝わりやすいものにできることを学んだ。」「考えの客観性の重要性や、話の順序による説得力の違いも分かった。」といったコメントがありました。今回学んだことを活用し、高校1年生は研究レポートを作成していきます。さらに、高校3年生では研究論文を執筆する予定です。

西陵高校、島原高校、佐世保工業、壱岐高校、奈留高校より、計6名の先生方もリアルやオンラインで参加され、充実した研修となりました。

英語論文講座を開催しました！

11月26日（金）高校2年生国際科の生徒を対象に「英語による論文作成方法」について、上記の麻生先生より御指導いただきました。英語論文の構成要素は、①Introduction（はじめに）②Purpose（目的）③Related Literature（先行研究）④Study（方法）⑤Results（結果）⑥Discussion（考察）⑦Conclusion（結び）⑧Limitations and Implications（今後の課題）⑨References（参考文献）、⑩Appendix（付録）であり、各章で記述すべき内容や注意点を御教示いただきました。

意見（Opinion）→理由（Reason）→例（Example）→意見（Opinion）の順序で段落を構成する「OREOメソッド」や、I thinkを避けること、能動態を用いること、単文の羅列を避けること、といった具体的な御助言をいただきました。英語表現に関する演習も多く取り入れられ、生徒は楽しく学びを深めていました。

～講義の一部より～<①より②の表現が好ましい>

「大学生がボランティア活動に参加するのは良いことだ（と私は思う）」

①I think it is good for university students to participate in volunteer work.

②It is beneficial for university students to participate in volunteer work.

「大統領は不人気な政策決定をしたが、（私の考えでは）それは必要なことだった」

①The President made an unpopular policy decision. In my opinion, it was necessary.

②Although the President made an unpopular policy decision, it was necessary.

